

サプライチェーンのレジリエントを高めるためのハイブリッドクラウド

Nutanix Cloud Clusters (NC2) でハードウェア価格高騰のリスクを回避する方法

業界全体で、CEOやCIOはハードウェアサプライチェーンの変動性の高まりに警鐘を鳴らしています。メモリ価格は上昇し、CPUリードタイムの長期化、コンポーネント不足により、ハードウェアの納品期間は数週間から時には12ヶ月以上へと延びています。一方、アナリストはオンプレミスハードウェアの価格が2026年には最大**40%**上昇すると予測しており、IT予算に予期せぬ大きな圧迫を与え、モダナイゼーション計画の遅延を招いています。

同時に、エンタープライズワークロードの実行方法において、かつてないほど多くの選択肢を手に入れています。拡大を続けるOEMサーバーのエコシステム、ハイパースケーラーによるベアメタル提供の拡充、そして進化するクラウドの経済性により、ハイブリッドアーキテクチャは戦略的なヘッジ(回避策)となります。特にクラウドのベアメタル価格は、ハイパースケーラーが需要を予測し確保しているため、オンプレミスのような急激な高騰は予測されていません。

今後数四半期の先行きを見通す組織にとって、現在は極めて重要な局面です。ハードウェアコストの急騰による影響を最小限に抑え、サプライチェーンに起因するプロジェクト遅延を回避しながら、業務の継続性とモダナイゼーションの勢いを維持するための、慎重な戦略が求められます。

本ガイドでは、ハードウェアのリスクを軽減し、トランスフォーメーションを加速させながら、オンプレミスとパブリッククラウドをまたいでインフラの柔軟性を維持し、継続的なイノベーションを実現するために「Nutanix Cloud Clusters (NC2)」をどのように活用できるかについて解説します。

主なメリット

- **統合プラットフォーム:** オンプレミス、エッジ、パブリッククラウドにまたがるあらゆる環境において一貫した運用を実現する、セキュアで統合されたAI対応のハイブリッド・マルチクラウドプラットフォームです。
- **リスクの軽減:** 対象のワークロードを安定したクラウドのベアメタルインフラストラクチャーに移行することで、上昇し続けるハードウェアコストや納期遅延の影響を最小限に抑えます。
- **価値創出のスピード:** アプリケーションのリファクタリング(再設計)なしで移行を加速。Nutanixのサービスを活用し、ネイティブなクラウドサービスと統合することで、迅速なモダナイゼーションを実現します。
- **運用のシンプル化:** 使い慣れたNutanixのワークフローにより運用を標準化。すべての環境で一貫した管理、ガバナンス、セキュリティを実現します。
- **効率性の向上:** 無駄を最小限に抑え、レイテンシーを低減し、リソース利用率を最大化するインテリジェントなワークロード配置により、パフォーマンスとコストを最適化します。
- **TCOの管理:** ハイパースケーラーとNutanixのセービングプランを活用して、移行コストの相殺に役立て、効率的でコスト効果の高いクラウド拡張を実現します。
- **将来への即応性:** NC2を継続的なモダナイゼーションとイノベーションの基盤とすることで、長期的な柔軟性、ハイブリッド制御、一貫性を維持します。



図1. NC2 を活用した Nutanix Cloud Platform

NC2が解決する、現在のハードウェアおよびサプライチェーンの課題

こうした市場のプレッシャーの中でも、モダナイゼーションの勢いを維持するために、組織は柔軟性、クラウド対応力、ハードウェアの供給不安から隔離されたインフラストラクチャーへのアプローチを必要としています。Nutanix Cloud Clusters (NC2) は、ITチームが変革の勢いを加速させ、予算を保護し、サプライチェーンのボトルネックを回避するための強力な道筋を提供します。

NC2により、アプリケーションの再設計をすることなく、パブリッククラウドのベアメタルインフラへ迅速かつシームレスにワークロードを移行でき、リスクを最小限に抑えられます。これにより、不安定なハードウェアのサプライチェーンへの依存を排除し、自社のスケジュールに合わせてモダナイゼーションを推進できるようになります。クラウドのベアメタル価格は引き続き安定していると見込まれるため、NC2は、後数四半期にわたって予測されるハードウェアコストの高騰を回避する現実的な手段を提供すると同時に、将来のイノベーションに向けた積極的な計画策定を可能にします。

統合されたハイブリッド・マルチクラウドプラットフォームを提供することで、NC2はオンプレミスのデータセンター、エッジ、パブリッククラウドのリージョンをまたいで運用の一貫性を実現します。コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、管理を単一のプラットフォームに統合することで、部門間のサイロ化を解消し、運用をシンプル化します。また、インテリジェントなワークロード配置により、アプリケーションとデータが最も最適でコスト効率の高い場所で行われることが保証され、パフォーマンスとリソース利用効率の両方が向上します。

NC2はまた、価値創出までの時間を短縮します。アプリケーションのリファクタリングをすることなく迅速な移行が可能になります。これにより、ハードウェアの調達が停滞している状況下でも、デジタルトランスフォーメーション (DX) の取り組みを止めることなく推進できます。さらに、Nutanixの AI、Kubernetes、データベースソリューションに加え、パブリッククラウドサービスとの統合といった、柔軟なモダナイゼーションの選択肢を提供します。既にお客様が利用しているクラウドサービスを活用しながら、変革への明確で柔軟な道筋を示します。

最後に、Nutanixやハイパースケーラーが提供するセービングプランを活用することで、移行や導入にかかるコストを相殺でき、NC2への移行をコストニュートラル、あるいはそれ以上のメリットにできる可能性があります。長期的な柔軟性、ハイブリッド環境の制御、あらゆる環境での一貫した管理により、NC2はレジリエントで、将来を見据えたクラウド運用の戦略的基盤となります。

Nutanix Cloud Clustersがお客様にどのようなメリットをもたらすか、ぜひ確かめください。

詳しくは、www.nutanix.com/ja/products/nutanix-cloud-clustersで詳細をご覧ください。無料のTCOおよびクラウドアセスメントをご依頼いただくか、[無料お試し版「Test Drive」でNC2を実際に体験ください。](#)

データベース・ワークロードの部をNutanixに移行した後、継続的なクラウド支出を即座に30%削減することができました。これにより、ビジネスへ再投資に向けた柔軟性が生まれました」

HighRadius社

クラウド・エンジニアリング担当

バイスプレジデント Simran Singh 氏

NUTANIX

contact-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp | [@nutanixjapan](https://twitter.com/nutanixjapan)

©2026 Nutanix, Inc. 無断転載を禁じます。Nutanix、Nutanix ロゴ、およびここに記載されているすべてのプロダクト名とサービス名は、Nutanix, Inc. の登録商標または商標です。アメリカ合衆国およびその他の国において、本文書に記載された、その他のブランド名は、識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。

BC-HybridCloudForSupplyChainResilienceGuide-SolutionBrief-FY26Q3-v3_ja-JP-041926